【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第２区分
【発行日】平成22年9月24日(2010.9.24)

【公開番号】特開2009-61046(P2009-61046A)
【公開日】平成21年3月26日(2009.3.26)
【年通号数】公開・登録公報2009-012
【出願番号】特願2007-230640(P2007-230640)
【国際特許分類】
Ａ６１Ｆ　13/496　(2006.01)
Ａ６１Ｆ　13/15　(2006.01)
Ａ６１Ｆ　13/49　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ４１Ｂ　13/02　Ｕ
Ａ４１Ｂ　13/02　Ｔ

【手続補正書】
【提出日】平成22年8月9日(2010.8.9)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００３４
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００３４】
次に図７～図１０を参照して第２の実施形態に係るおむつ１について説明する。図７はおむつ１を平面に展開して表す平面図、図８は胴周弾性部材の伸長を開放した状態を表す平面図、図９および図１０は各々、パンツ型としたおむつ１を腹側シート部材２および背側シート部材３から見た模式図である。
図７に示すように、この実施形態では体液吸収体５の湾曲部５２が、腹側シート部材２と重なり合う点が、第１の実施形態との主な相違点である。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００３９
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００３９】
従って、図９に示すように、おむつ１を正面から見たとき、脚周り開口８はおむつ１のやや前方に向けて開口する。第１と第２の実施形態で同一形状の体液吸収体５を用いる場合を比較すると、第２の実施形態の方が境界Ｂ１における体液吸収体５の横方向長さが短いことにより、脚周り開口８はおむつ１のより前方に向けて開口し、着用者の脚によりフィットしやすい形状になる。
【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００４０
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００４０】
また、図１０に摸式的に示すように、パンツ型としたおむつ１を背面から見たとき、第１の実施形態と同様に、体液吸収体５の背側平行部５４は腹側平行部５３より収縮量が小さいため、横方向の寸法が腹側平行部５３より大きくなり、着用者の臀部を広く覆うこと

ができる。